

遠隔地にあるパソコンを操作したい

Q

実家から、パソコンの使い方についてよく質問されます。家のパソコンをリモートで操作してくれるサポートデスクがあると聞きました。実家との間でも同じことができないでしょうか。

A

Windows XP以降なら「リモートアシスタンス」を使い、インターネット経由で遠隔地のパソコンを操作できます。同時に電話などで話しながら操作すればスムーズに進むでしょう。

ここでは、サポートを受ける側をA、する側をBとして、3種類の接続方法を説明します。まず、Windows 7同士なら、新しく追加された「簡単接続」機能が使えます。両方のパソコンでスタートメニューから「メンテナンス」→「Windows リモートアシスタンス」を起動します。A側で「信頼するヘルパーを招待する」、B側で「招待してくれた人を助けます」を選択したら、A、Bともに「簡単接続の使用」を選びます。A側にはパスワードが表示され、B側にはパスワードの入力画面が表示されるので、電話などでパスワードを連絡して入力します。この後、A側で表示を許可すると、B側にAのパソコンの画面が表示されます。

BからAの画面を操作するには、B側で「制御の要求」をクリックし、A側に「許可しますか?」という内容のメッセージが表示されたら「はい」を選択します。これで、BからAのパソコンを操作できるようになります。マウス操作はもちろん、キーボード入力も可能です。

一方のパソコンがWindows 7で

ない場合は、「Windows Live Messenger」(以下、Messenger)を利用するのが便利です(図1)。あらかじめ、お互いを「知り合い」に登録したら、A側でMessengerを起動し、「操作」メニューから「リモートアシスタンスに招待」を選びます。B側でもMessengerが開いたら「承諾」を選びます。Aにパスワード、Bにはパスワードの入力画面が表示されるので、後の手順はWindows 7同士の「簡単接続」と同じです。

3つめの方法は、招待用のファイルを使います。A側がWindows 7の場合、Windows リモートアシスタンスを起動し、「信頼するヘルパ

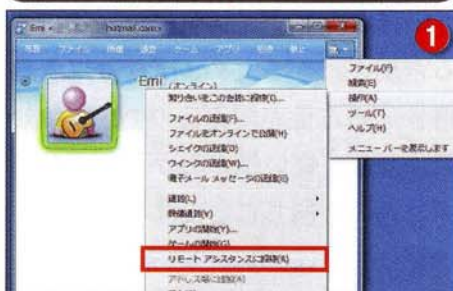
ーを招待します」→「この招待をファイルに保存する」を選んで、保存したファイルをメールで送信します。「電子メールを使用して招待を送信する」で送信しても構いません。

逆にA側がWindows XPの場合は、スタートメニューの「ヘルプとサポート」からリモートアシスタンスを起動してください。操作手順は少し異なりますが、できることはWindows 7の場合と同じです。メールを受け取ったB側で添付ファイルを開くと、パスワード入力画面が現れます。A側で表示されているパスワードを入力したら、後はこれまで説明した手順と同様です。

リモートアシスタンスでの表示速度などは、通信速度に影響を受けます。できるだけ高速な回線を確認しましょう。

●Windows Live Messengerを使ったリモートアシスタンスの手順

サポートを受ける側(A)



Aが「Windows Live Messenger」でBとのチャット画面を開き、「操作」→「リモートアシスタンスに招待」をクリックする

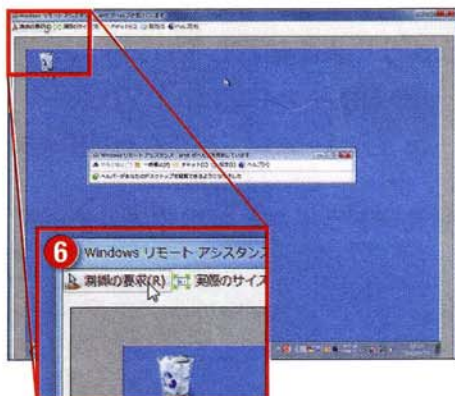
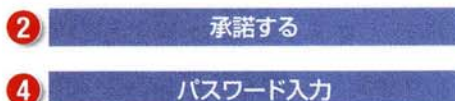
パスワード表示

許可



Bからの制御の要求に対して「はい」をクリックすると、BがAのパソコンを制御できるようになる

サポートする側(B)



BはAのデスクトップ画面が見られるだけなので、制御するためには「制御の要求」をクリック

図1 Windows 7同士でない場合は、Windows Live Messengerで接続するのが簡単だ

リモート接続

●離れた場所にあるパソコンを遠隔操作

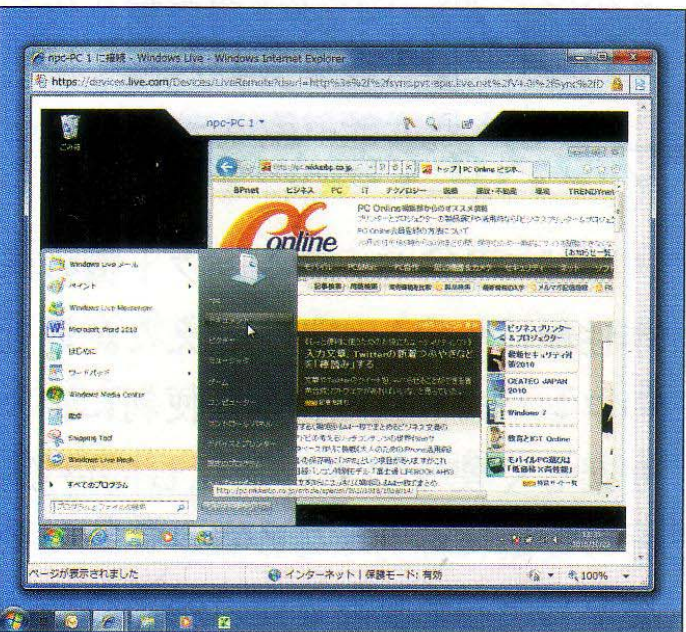
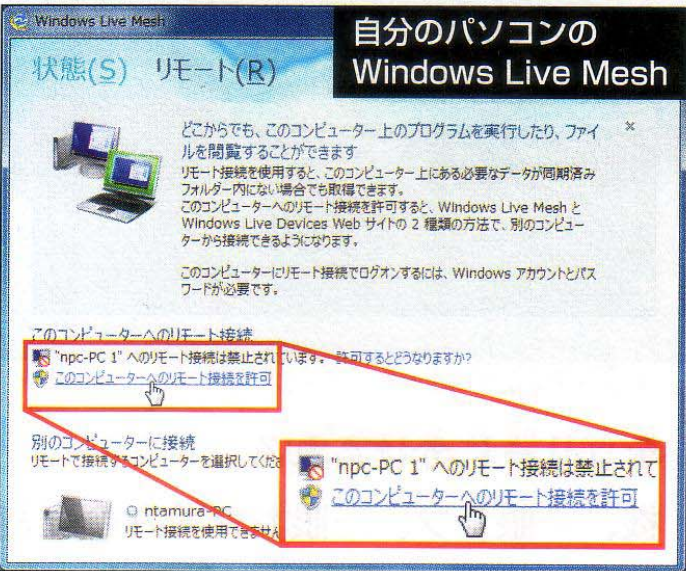


図 11 Windows Vista/7 に「Windows Live Mesh」をインストールして、リモート接続を許可しておく、インターネット経由で遠隔地からパソコンを操作できる

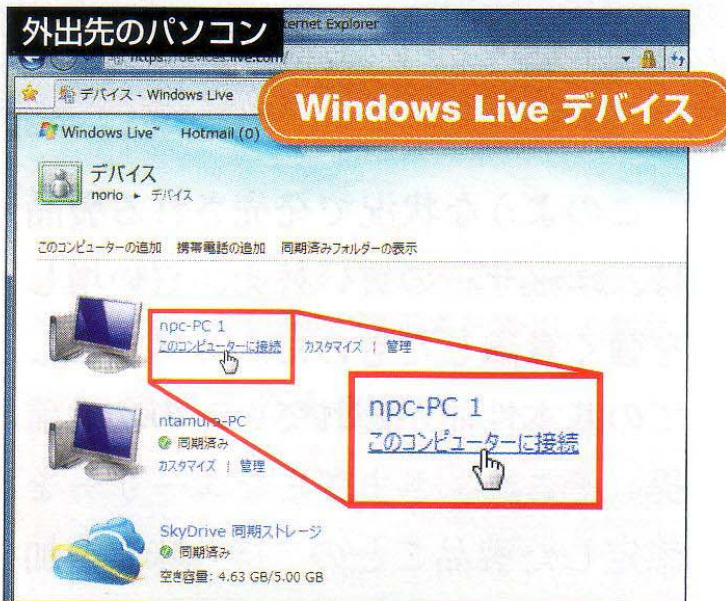


図12 ブラウザーでWindows Liveの「デバイス」にアクセス。図11の設定をしたパソコンを選んで「このコンピューターに接続」をクリックする。接続側はWindows XPでもOKだ

図 13 ブラウザーの中にパソコンのデスクトップ画面が表示される。ソフトを操作したり、「コピー」→「貼り付け」でファイルを出し入れしたりできる

マイクロソフトが新たに提供を開始した「Windows Live デバイス」というサービスを使うと、離れた場所にあるパソコンにインターネット経由で接続し、遠隔操作できる。操作される側のパソコンに、同期ソフト「Windows Live Mesh」(Windows Live Essentialsに含まれる)をインストールし、あらかじめ接続を許可しておけばよい。すると、ほかのパソコンから同ソフトまたはWebブラウザを使って接続し、まるでパソコンの前にいるかのように操作できる(図11～図13)。

なお、Windows Live MeshはWindows XPに対応していないので、Windows XPのパソコンは遠隔操作できない。ただし操作する側は、Internet Explorer 6以降があればWindows XPでも構わない。